

予算特別委員会における審議の状況

付託議案の審査結果 平成三十一年度一般会計
平成三十一年度特別会計、企業会計
可決(賛成多数)
可決(全会一致)

二月二十八日に設置された予算特別委員会では、三月六日に五人の参考人から意見聴取を行うとともに、三月七日から十二日にかけて、知事の出席のもとで総括審査を行いました。審査の過程において、委員から次のような意見や提言がありました。



希望をかなえるための後押し
 貧困の連鎖解消に向けた朝ごはん推進モデル事業については、全県的な取り組みに広げていくため、継続的な事業実施のあり方を検討するとともに、家庭での喫食の促進にも取り組むこと。

子供の未来を応援する施策の充実については、民間からの寄附金を活用した中高生を対象とする奨学金支給のための基金創設や、子供の生活実態調査の継続的な実施を検討すること。

また、経済的に厳しい状況にある高校生の大学等への進学を促進するため、県が学習塾の授業料などを支援する「無料塾」の導入を検討すること。

さらに、大学生に対する経済的支援についても検討すること。

広島智学園の開校に向けて優秀な校長や教員を確保するとともに、将来にわたって持続的な学校運営を図るため、計画的な人材確保に努めること。

また、高等学校段階で、国際バカロレアに基づく英語での授業が実施されるため、中学校から学校生活全体を通じて、英語力が身につくよう取り組むこと。

ゆりのりの創出
 観光立県ひろしまの実現に向けては、外国人観光客の周遊促進や、受け入れ環境の整備に積極的に取り組むとともに、市町とも連携を図り、魅力的な観光資源の発掘と情報発信により、観光客の誘致とにぎわいづくりに取り組むこと。

地域活力の基盤づくり
 広島空港の拠点性強化に向けては、空港経営改革の導入を待つことなく、運用時間の拡大や、ターゲットを明確にした新規路線の誘致など、利用者の増加につながる取り組みを一層進めること。

広島市東部地区連続立体交差事業については、広島市と連携して丁寧な説明を尽くすとともに地元の見解を十分踏まえて、真摯に取り組んでいく必要があること。

広島都市圏の活力強化に向けては、将来像を見据えた県庁敷地の効率的な活用方策やすぐれた立地条件にある元生涯学習センターの有効活用について早期に検討すること。

予算特別委員会名簿 16人

委員長	幸二 昭郎	司徹 雄弘	澄彦 久忠	八 充徳
副委員長	保俊 宏太	林 太	幸泰 克真	昭泰 家新
委員	原森 橋石	本西 田村	下島 田川	本原 康英
委員	東栗 下石	畑平 下上	西山 大窪	森宮 下犬

暮らしを楽しむ機会の創出
 東京オリンピック・パラリンピックに向けたメキシコ選手団の事前合宿の受け入れに当たっては、市町と連携することはもとより、使用する練習施設や設備については、個々の競技団体のニーズを踏まえ、本番に近い環境を整備する必要があること。

スポーツを核とした地域づくりに当たっては、「FISEワールドシリーズ広島二〇一八」を起爆剤としたアーバンスポーツの聖地化に向けた取り組みを進めること。

また「二〇一八ハンザクラスワールド広島大会」の開催を障害者スポーツ振興のレガシーとするため、観音マリーナの整備に取り組むとともに、障害者スポーツの振興に向けた取り組みを充実すること。

災害に強いまちづくり
 県内各地の河川において土砂の堆積等が進んでいることから、河川内の堆積土等除去計画に基づく取り組みを加速し、県民の安全・安心を確保すること。

県庁舎の耐震化については、できるだけ速やかに工事を行うとともに、事業費の積算精度を一層高める必要があること。

なお、耐震化及び将来的なあり方については、財政負担を考慮しながら、県民の理解が得られるよう検討を進めること。

一方で、耐震化を選択するに当たり、約二十年前の数値を用いてライフサイクルコストの比較を行っているが、新たな建設工法など様々な工夫が可能であることから、再度試算をする必要があること。また、民間との協働による建て替えについても検討すること。

広島県の価値の共鳴・共振
 旧広島陸軍被服支廠は、数少ない貴重な被爆建物であると同時に、建築的な視点においても歴史的価値が高いことから、将来的な保存や利活用の方向性について、耐震性を備えていない点を考慮して、スピード感を持って取り組むこと。

北朝鮮による日本人拉致問題については、一日も早い解決に向けて、国と地方が連携して、国民・県民の関心を喚起し、世論を高めていくこと。

また、経済的に厳しい状況にある高校生の大学等への進学を促進するため、県が学習塾の授業料などを支援する「無料塾」の導入を検討すること。

さらに、大学生に対する経済的支援についても検討すること。

3月2日、5日開催

常任委員会の動き

総務委員会

付託議案の審査結果
 補正予算四件、条例案七件
 その他の議決案件一件
 原案可決

主な質疑事項
 スポーツに関する事務の教育委員会から知事部局への移管後の実施展開に当たっては、スポーツが持つ裾野の広さを念頭に置いた、部局間の連携に努めるとともに、東京オリンピック・パラリンピック後を視野に入れた取り組みについても検討されたこと。

「FISEワールドシリーズ広島二〇一八」など国際的スポーツ大会の開催を通じた地域づくりに関しては、大会を多くの県民が一体となって楽しみ、地域の活性化につなげていくことができるよう、大会の開催について周知を徹底されたこと。あわせて、観光施策の観点も踏まえ、海外からの観光客を県内に周遊させるといった、商工労働局と連携した取り組みも必要であること。

農林水産委員会

付託議案の審査結果
 補正予算三件、条例案四件
 その他の議決案件一件
 原案可決

主な質疑事項
 酪農業については、日EU-EPA TPP11に備えるため、ICTを活用した発情発見装置等を導入し、労働負担の軽減と生産性の向上によるコスト削減に取り組むこと。

農地利用の集積・集約化等に当たっては、新たに設置された農地利用最適化推進委員を活用するとともに、農地中間管理機構関連農地整備事業を最大限に活用し、集落法人などの担い手に対する優良な農地の集積面積の拡大に努めること。

カキのブランド化については、県がリーダーシップをとって、生産者、関係業者などと連携し、新たなブランド商品として打ち出すことで付加価値を高めていくこと。

【その他】
 第二期農林水産業アクションプログラムにおける業対策と地域対策の体的な取り組みなど

文教委員会

付託議案の審査結果
 補正予算二件、条例案七件
 その他の議決案件一件
 原案可決

主な質疑事項
 学校において教員が従事する部活動指導については、給与上の適切な処遇を図るとともに、スポーツ庁が作成する予定のガイドラインも踏まえ、部活動に係る教員の負担軽減を進められたこと。

広島智学園中学校・高等学校については、平成三十一年四月の開校に向けて準備に万全を期すよう、教育委員会が一丸となって取り組まれたこと。

県立広島大学が設置しているサテライトキャンパスひろしまについては、広島市中心部に立地する利点を生かし、県内大学の連携などによる活用を一層促進し、利用率向上を図りたいこと。

【その他】
 教育長在任中における取り組みと今後の本県教育行政への期待など

生活福祉保健委員会

付託議案の審査結果
 補正予算二件、条例案十三件
 その他の議決案件一件
 原案可決

主な質疑事項
 ひろしまファミリープランの目標等の見直しは、関係する計画との整合を図りながら、取り組みの充実などを検討するとともに、特に障害のある子供の支援については、計画修正を検討すること。

「医療的ケア」が日常的に必要な児童の入園・入学については、本人や保護者の希望に沿えるよう、関係者との情報共有や連携を十分に行うこと。

指定就労継続支援A型事業所の経営破綻への対応については、利用者の未払い資金の支給が確実に進むよう、関係者と協議調整を進めるとともに、同様の経営破綻が発生しないよう、実態を調査・分析し対応策を検討していくこと。

【その他】
 浄化槽の法定検査のあり方など

建設委員会

付託議案の審査結果
 補正予算七件、条例案五件
 その他の議決案件三件
 原案可決

主な質疑事項
 道路の除雪については、大雪のため車が何時間も立ち往生するなどの事案が他県で発生していることを踏まえ、本県においても、県民生活に大きな影響を及ぼすことのないよう、業者や機械の確保に努められたこと。また、気象情報などをもとに事前の準備を行うなど、適切な除雪体制を整備するよう取り組むこと。

中山間地域における人口減少は特に深刻であることから、持続可能なまちづくりを進めるため、建設業者が地域で重要な役割を担っていることを踏まえ、地域貢献の取り組みを評価するさらなる仕組みづくりなどの入札制度の改善等により、地域に建設業者が存続できる取り組みが必要であること。

警察商工労働委員会

付託議案の審査結果
 補正予算二件、条例案二件
 原案可決

主な質疑事項
 風俗営業等の規制については、新たに田園住居地域が加えられるが、引き続き住宅地における県民の平穏な生活を守るために適正な運用を行うこと。

県の預託融資制度については、貸出利率と保証料率を含めた実質負担が民間金融機関の実勢金利よりも高くなつており、利用が低調なことから、融資制度のあり方について、抜本的な見直しを含めた検討が必要であること。

本県経済の活性化に向けては、きめ細かな企業誘致活動を行うとともに、本県の投資環境の優位性について市町等と連携した積極的な情報発信に取り組む必要があること。また、民有地への立地に対する支援の拡充も検討すること。

【その他】
 いわゆるヤミ民泊を助長しないための取り組みなど

可決された意見書

3月14日議決

- 待機児童の解消を求める意見書
- 利用者保護等の観点から問題のあるライドシェアの導入の自粛を求める意見書
- 所有者不明の土地利用の促進を求める意見書

巻頭写真撮影の高校生に感謝状を贈呈

本紙の巻頭写真を撮影した、庄原実業高校写真部の宗清まりんさんに、宮崎康則広報委員長が感謝状を贈呈しました。

その後、写真部の生徒から、撮影時のエピソードや撮影のテクニックをはじめ、活動内容や学校生活について伺いました。



この広報紙についてのご意見・ご要望をお寄せください。
 ひろしま県議会だよりは、6月、9月、12月、2月の各定例会後に発行します。

あて先 〒730-8509 広島市中区基町10-52 TEL 082-513-4743
 広島県議会事務局 政策調査課

FAX 082-222-9600 MAIL gikaichousa@pref.hiroshima.lg.jp

子供向けリーフレット「みんなの県議会」
 広島県議会では子供向けリーフレットを作成しています。議会事務局で配付しているほか、広島県議会キッズサイト「みんなの県議会」でもダウンロードできます。

ホームページ <http://www.pref.hiroshima.lg.jp/site/gikai/> 広島県議会 検索